



就任のご挨拶

歯学部同窓会会長 三 善 潤

歯学部同窓会会員の皆様には、会の運営にあたり格別のご協力とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

城茂治前会長からの推薦を経たのち、令和4年6月4日に開催された岩手医科大学歯学部同窓会評議員会において、評議員の諸先生方からのご承認を賜り会長に選出されました。

さて、2017年4月に創立120周年を迎えた母校・岩手医科大学は、総合移転整備計画等の記念事業を展開しているところです。歯学部同窓会として同事業への協力を進めてまいりますので、諸先生方におかれましてはご理解のほどお願いいたします。

昨年は歯学部第1期生卒業から50年、3,880名もの卒業生を輩出し歯学部同窓会にとって大きな節目の年でした。しかし、記念事業等は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で延期となり、前執行部から新執行部へと引き継がれることとなりました。

歯学部同窓会の大きな役割のひとつとして学生支援、6学年への歯科医師国家試験対策、ソサエティにおける教官などへの支援があります。本学における歯科医師国家試験の結果について、歯学部改革の成果が出てきているものの厳しい状況にあります。合格率向上のため引き続き支援していきます。

本学歯学部への入学者数減少は大学・同窓会双方に

とって大きな課題です。豊かな自然に恵まれ、医・歯・薬・看護の4学部がそろい総合的に医療を学ぶ環境が整った大学の魅力をアピールし、入学定員の充足に向けて協力していきますので、歯学部同窓会会員のみならず母校や岩手の魅力をご存じの圭陵会会員の諸先生にご協力を賜ることができれば幸いです。

そのほか、会務で重要な案件がありますが、新執行部役員各位と共に母校および同窓会の更なる発展のため、自身微力ながら尽力してまいりますので、会員の皆様にはなお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。